

# 総額48億4100万円 令和3年度 能勢町

## 環境創造部 (観光文化課・地域振興課・地域整備課)

**問** 浄りシアター自主事業の内容、Web配信、コロナ禍における観客等への対応について説明を求める。

**答** 自主事業を3回、民間との共催事業を2回計画しており、実施時期は秋以降の予定である。Web配信については、鹿角座公演を中心にYouTubeによる公開を行っているが、今後も積極的に取り組む。また、新型コロナウイルス感染防止については、現在の対策を継続していく。

**問** 産業立地推進事業の取組みについて説明を求める。能勢町内優良農地840ヘクタールの5%について、産業用地へ転用を進めるといふことであるが、どのように推進していくのか。

**答** 地元説明会等で、該当する地区の方に他市町村の転用事例を示すことにより、産業用地化への意識醸成を図る。また、令和3年度は、能勢町観光物産センターの地域商社化・DMO化を中心に事業を展開する。

**問** 獣害対策事業の実施方針・内容について問う。

**答** 能勢町鳥獣被害防止計画に基づき、大阪府猟友会能勢支部とも連携した有害鳥獣捕獲により、被害防止に努める。令和3年度は、アライグマ捕獲檻20基の購入を予定している。

**問** 土砂災害対策事業については例年実施率が低い、活用に向けどのように取り組むのか。

**答** 本事業は、土砂災害特別警戒区域内建築物の移転・補強に対し、費用の一部を補助するものである。土砂災害被害を防止するため、住民周知に努め実施率向上を図っていく。

## 教育委員会 (生涯教育課・学校教育課)

**問** B&G海洋センター及び名月グラウンドの利用状況と運営方針について問う。

**答** 令和2年度の利用状況はコロナ禍の影響で、B&G海洋センターは52%の減、名月グラウンドは35%減の(団体数)となっている。事業内容は指定管理者が決定しているが、提案された内容を教育委員会と協議のうえ事業運営している。

**問** ICT教育環境整備事業におけるICT支援員の役割は。

**答** ICT支援員は、能勢小中学校における児童生徒「1人1台端末」整備後(令和2年度3学期より運用開始)におけるICT機器の効果的・安定的な活用のため、また、教師・児童生徒の機器操作支援のために配置を予定している。

**問** 体力づくり推進事業の目的と、令和3年度の取組みについて説明を求める。

**答** スクールバス通学者増加により、子どもたちの体力低下が懸念されるなか、学校のあらゆる場面において体力の向上を図る事業である。令和3年度においては、オノマトペ体操や水泳指導により体力を高める運動の機会を充実させる。

**問** 地域学校協働本部の活動について、どのように取り組むのか。

**答** 今までは、学校が地域に支えられてきたが、これからは学校と地域が互いに支え合い地域社会全体の教育力向上が活動の中心である。令和3年度においては、ボランティア等の地域人材を学校現場で積極的に活用していく。

続いて、3月17日に「能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」、「能勢町介護保険条例の一部を改正する条例」、「令和3年度能勢町国民健康保険特別会計予算」、「令和3年度能勢町後期高齢者医療特別会計予算」、「令和3年度能勢町介護保険特別会計予算」、「令和3年度能勢町国民健康保険診療所特別会計予算」、「令和3年度能勢町農業集落排水事業特別会計予算」、「令和3年度能勢町下水道事業特別会計予算」、「令和3年度能勢町水道事業会計予算」の内容を審議し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。